

2019年度予算案

消費税増税が前提

3年連続増 震災直後除き 過去最大規模

石井市長によって初編成された西宮市 2019 年度予算案が発表されました。一般会計は 3 年連続増、大震災直後を除くと過去最大の規模。これは保育所等の待機児童対策や学校の建て替え・改修、幼児教育の無償化などによるもので、また、消費税増税が前提となった予算案です。3 月議会には、今後 10 年間の第 5 次総合計画（基本構想・基本計画が議決対象）も提案されます。

昨年 12 月議会で請願が採択された学校体育館へのエアコン設置については調査費 (513 万円) が計上される一方、市民に何も知らされていない西宮浜での小中一貫校開校準備 (2020 年 4 月予定・4,495 万円) や、待機児童対策と称しての民設民営学童保育の導入 (2,520 万円) も盛り込まれています。

2019年度予算総額				
	2019年度	2018年度	増減額	増減率
一般会計	1840.73億円	1780.56億円	60.17億円	3.40%
特別会計	876.33億円	878.52億円	△2.19億円	△0.2%
企業会計	474.67億円	466.05億円	8.61億円	1.80%
総計	3191.73億円	3125.13億円	66.59億円	2.10%

* 消費税率の引き上げを前提に、歳入では地方消費税交付金や自動車取得税に代わる環境性能割交付金が増加、一方で歳出に対する増税の影響が 4 億 2400 万円見込まれています。また、水道料金、下水道使用料等で増税分の料金改定が提案されています。

* 過大規模の第二庁舎建設は、教育委員会庁舎の解体を終え建設に、また中央体育館は集客規模を多少縮小して調査・アドバイザー業務委託に進みます。

* 引き続き保育所待機児童対策等では、民間保育所整備で約 250 人の定員増 (15 億 3,900 万円) や認可保育所に入れずやむなく無認可保育所を利用した場合に年齢にかかわらず利用料一部補助 (7,980 万円) など。

* 香櫨園小 (2019 年夏完成予定)、春風小 (2020 年冬完成予定)、西宮養護学校 (2021 年夏完成予定)、安井小 (2023 年完成予定) の改築が継続。

* 歳入の根幹である市税は、納税義務者増や家屋の新増築増、一部企業の業績アップで 11 億 4,200 万円 (前年比 1.3%) の増。市税を含む一般財源 (市の裁量で使えるお金) は 1,158 億 9,200 万円 (前年比 2.8%増) で、引き続き「安定」した財政と言えます。



2019年度
国民健康保険料
3.7%アップ !!

国民健康保険は、2018 年 4 月から都道府県が「財政運営の主体」(都道府県化) となり、各市の保険料率は県が示す納付金額と標準保険料率を参考にして決定することになりました。党議員団は、都道府県化のもとでも高すぎる保険料引き下げのために、引き続き一般会計からの繰り入れや、基金の活用を求めてきました。

2019 年度保険料率については、3 月 5 日に条例提案がありますが、これに先立ち 1 月、国保運営協議会に市の諮問

が行われ、概要が明らかになりました。

これによると、県が示す納付金・標準保険料率では一人当たり保険料は 136,688 円と、前年比 8.9%の大幅な増となっているため、上昇率を前年並み (3.86%) に抑えるよう、一般会計から 6 億円 (前年度同額)、基金から 7 億円 (前年度 1 億 5 千万円) を繰り入れ、121,907 円 (前年比 3.7%アップ) としたい、としています。

市としての努力も限界に近づいています。せめて中小企業従業員が加入する「協会けんぽ」並みに国保料を引き下げのために、日本共産党の提案や全国都道府県知事会の要望どおり「公費の 1 兆円投入」が不可欠です。

また、後期高齢者医療制度については、特例減免が順次廃止されるため保険料が上がる人も。

幼児教育無償化と言うけれど 消費増税財源では

今年10月から政府が予定している幼児教育の無償化は、消費税を財源とし、10%増税を前提としています。

しかも、子ども子育て支援新制度で保育所、認定子ども園、新制度移行幼稚園、従来型幼稚園など、多種多様になった施設ごとに無償(助成金額)の内容が違い、給食などについては対象外。さらに3歳から5歳までは対象となるものの、0歳から2歳までは所得制限が設けられるなど、問題点が多くあります。

日本の幼児教育への支出のうち公的支出の割合は46%、OECD平均82%を大きく下回り、OECD諸国の最下位です。日本共産党は、予

算を引き上げ、すべての乳幼児が豊かな保育がうけられる体制を整えるとともに、保育料、幼稚園授業料の無償化をはかることは当然と考えます。

しかし、こんな経済状況の下、低所得者ほど負担が重い消費税を財源とする「幼児教育無償化」は大問題です。

統合新病院基本計画と 中央病院跡地活用も検討へ

兵庫県と市は1月21日、県立西宮病院と市立西宮中央病院を統合再編し、アサヒビル西宮工場跡地に新病院を整備する基本協定を締結しました。今後は、新病院が公立病院として救急や災害時の安定した医療提供、小児・

兵庫県の周産期医療等をさらに充実させるための基本計画策定に着手します。また、中央病院跡地活用についても周辺の医療環境なども含め検討するとしています。



あまりに拙速！小中一貫校開校

西宮浜での小中一貫教育推進として、2020年4月に義務教育校開校の条例提案と関係予算が予定されています。

1年生から9年生までの義務教育学校。特色ある教育を行う「特認校」として校区外の児童生徒も就学可能にするとしています。特色とは？部活動は？制服は？…など何がどう変わるのか、市民が知らないうち、理解ないままの開校は拙速すぎます。(団ニュースNo.698参照)



新年度予算案

こんな施策も

♥子育て支援♥

- ・2020年4月にむけて、民間保育所整備で250人定員増
- ・認可外保育施設利用料補助 … 認可保育所に申し込んだが入所できず、やむなく認可外保育所を利用する場合に児童の年齢に関わらず利用料の一部を補助。(現行は小規模保育所から認可外保育所入所世帯のみに限定)
- ・病児保育の拡充 … 病児保育所4か所→5か所。病児保育を実施している施設に対して1人当たり1,000円→2,500円補助
- ・北夙川保育所移転建て替え
- ・生瀬幼稚園を生瀬小内に移転。園跡地に保育施設整備
- ・鳴尾北幼稚園跡地に不登校児童生徒の適応指導教室(あすなろ学級)開設
- ・障害ある子どもの支援充実のため、公立幼稚園に保育支援員(30人程度)、小中に介助支援員(4人程度)配置
- ・学校体育館空調設置環境分析調査
- ・瓦木中増改築に向け、基本計画策定
- ・香櫨園育成センター他4か所新設工事。樋ノ口他1か所新築設計。瓦木他1か所改修工事。高須西改修設計

◆福祉・健康・共生◆

- ・助産師による産後ケア訪問の拡充

- ・共生型地域交流拠点2か所新設 … 高齢者を中心に多世代が集い、介護予防や地域福祉活動を推進
- ・緊急通報救助(見守りホットライン) … 現行の高齢者緊急通報機器貸与に加え、民間事業者による見守り、月1回の安否確認
- ・障害ある人への手助けができる「あいサポーター」養成。手すり設置などの商業者に費用助成

◆施設整備等◆

- ・引き続き西宮浜総合公園整備では公園センターを整備
- ・アミティホール天井耐震化に合わせて舞台照明設備の更新等。プレラホール座席の更新
- ・本庁舎周辺整備検討にあたり、アミティホールのあり方運営方法等も検討し、ホール管理運営基本計画を策定
- ・西部工場(浜松原町)の解体にむけ調査
- ・未耐震市民館の順次建て替え … 大箇市民館(地質調査)、甲陽園市民館(アスベスト調査)
- ・(仮称)越木岩センター整備

♥安心・安全♥

- ・西宮消防署建て替え(実施設計)
- ・阪急電鉄神戸線(西宮北口駅～武庫川)踏切解消調査
- ・防災行政無線に高性能スピーカーを導入。緊急告知ラジオ購入助成率引き上げ

